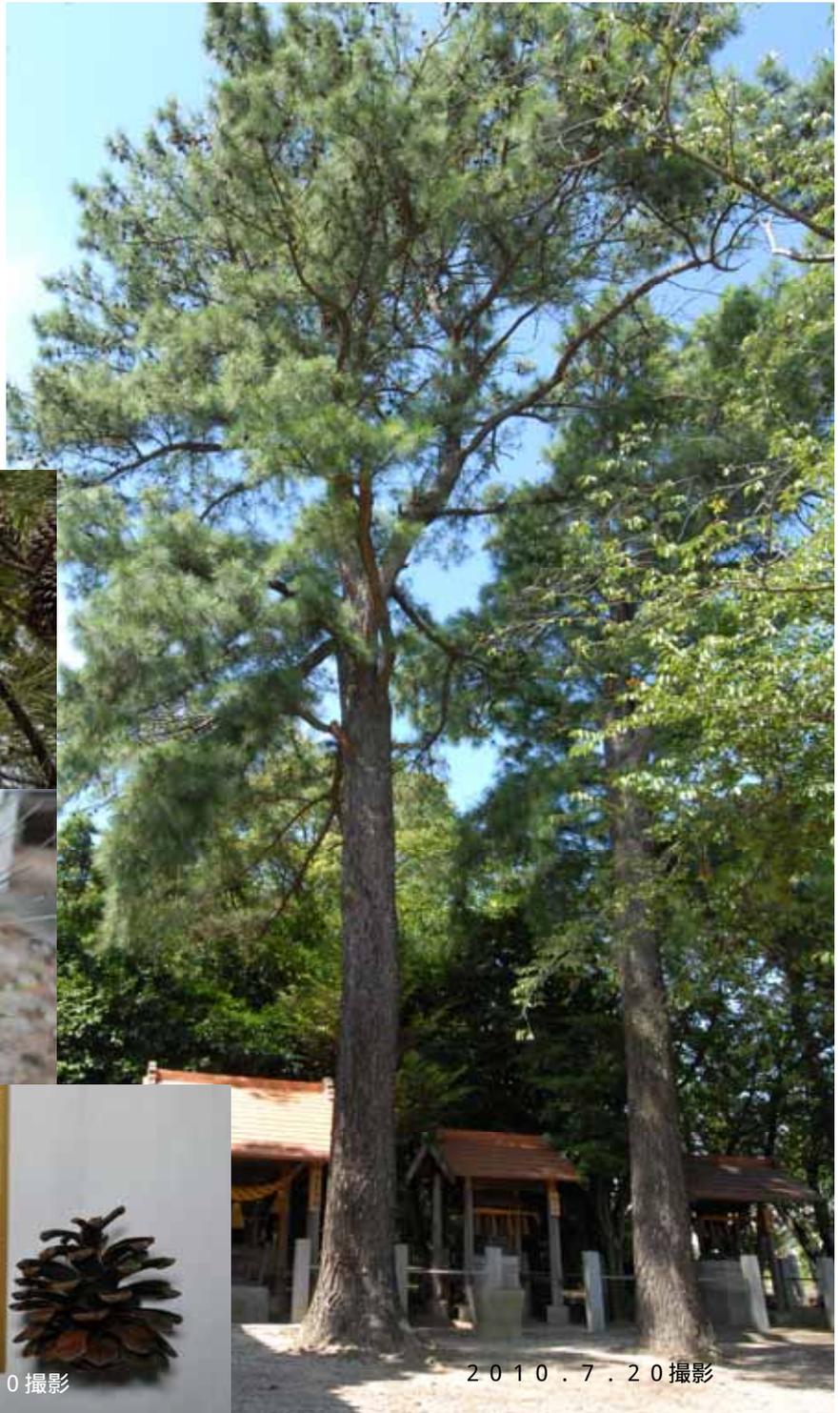


9 中畑八幡社のテーダマツ（三葉松）



球果と枝葉 2010.4.6撮影



枝葉 2010.12.28撮影



一般的な松（2葉）との比較
三葉、球果 2010.3.30撮影

2010.7.20撮影

テーダマツ（マツ科）

樹高 21m

幹周 2.3m

所在地 中畑町宮前33

所有者 中畑八幡社

テーダマツは、葉が3本出る（一般には2本）ことが大きな特徴である。球果（松ぼっくり）は長さ7～15cmでやや大きく、鱗片の先端に下向きの棘とげがある。樹高は30mにも達するものもある。北米原産で、一般に「米マツ」と言われる種類の一つである。比較的成長が早いためパルプの原料として昭和30年代に移入された。また、松枯れに強いといわれ試験的に植えられたこともある。